



4月～6月 村内小中学校・保育園で交通安全教室 交通ルールを学び安全な登下校を

村内各小中学校と保育園で交通安全教室が開かれ、子どもたちが交通ルールを学びました。

昭和中学校では4月21日に行われ、1年生が自転車で実際に公道を走行。安全な自転車の乗り方だけでなく、車や歩行者に気をつけた運転を学んでいました。

このほか、小学校では主に3年生が自転車の乗り方を学ぶとともに、実技テストに臨んでいました。保育園では歩行訓練が行われました。年長児たちは、交差点を横断する前にまず止まり、左右の安全を確認してから手を上げて渡っていました。



安全を確認しながら公道を走行(昭和中学校)



自転車の交通ルールを確認(大河原小学校)



自転車の実技テストに挑戦(南小学校)



道路の渡り方を確認(第二保育園)



5月18日 第6回グラウンドゴルフ大会 晴天の下で好打を競う



熱戦を繰り広げる参加者

村スポーツ協会(中島芳明会長)主催による、第6回グラウンドゴルフ大会が、総合運動公園グラウンドゴルフ場で開催されました。

晴天で汗ばむ陽気となった大会当日は、村内各地区の老人会などから82人が参加。各ホールで熱戦が繰り広げられ、時折ホールインワンが出て歓声上がるなど選手の皆さんは心地よい汗を流していました。

主な結果(敬称略) 男子の部▶優勝:松井文雄、準優勝:金井吉之助、第3位:星野叶、女子の部▶優勝:石井はま子、準優勝:鈴木やい子、第3位:松井正子



選手宣誓する星野叶さん



男子優勝の松井文雄さん



ホールポスト付近で慎重に狙いを定める

5月17日、24日 東小学校で農業体験授業 土の感触を確かめ農業を体験



加藤定男さんの指導で田植え(5年生)

東小学校で農業の体験授業が行われました。3年生の授業(17日)ではコンニャク芋の植え付け、4年生の授業(同日)ではホウレンソウの種まきを行い、来校した地元農家の石井謙次さん、角田真樹さん、石井和樹さん(ともに南内出)が指導しました。

また、5年生の総合的な学習(24日)では、加藤定男さん(常木)の田んぼで田植えを体験。子どもたちは、初めての田んぼの感触を確かめながら苗を手植えしました。体験した加藤華莉音さんは「感触を確かめながら田植えができて楽しかったです」と話していました。



コンニャク芋の植え付け(3年生)



ホウレンソウの種まき(4年生)



地元農家の皆さんが説明(4年生)

5月22日 久呂保レタス部会 収穫体験で特産のレタスをPR

久呂保レタス部会(高橋宏幸部会長)によるレタスの収穫体験が行われ、村外から9家族が参加しました。

この行事はコープ群馬の主催によるもので、参加者は、柔らかい畑の土や畝を踏みしめながら、刃先の鋭い包丁を手にレタスを収穫しました。また、レタスの試食では、味付けせずに新鮮なレタスのおいしさを楽しんでいました。

家族で参加した宮下昇さん(前橋市)は「初めて収穫体験に参加しました。新鮮でおいしいレタスを知ることができたので来てよかったです」と話していました。



包丁を手に慎重に収穫する参加者



出荷規格を確認する目揃え会を開催した部会の皆さん(4月20日)



新鮮なレタスを味わう参加者

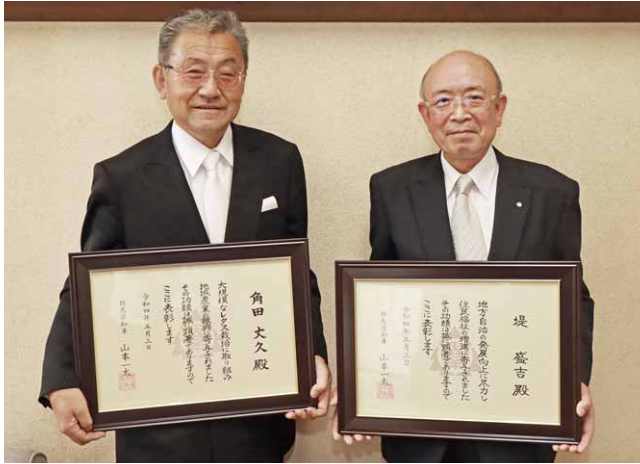


説明する角田伸一さん

5月20日 群馬県総合表彰
堤盛吉村長と角田丈久さんが受賞

長年にわたり、公共の福祉のため献身的に尽力された方をたたえる群馬県総合表彰の授賞式が県庁で開催され、堤盛吉村長(森下中)と角田丈久さん(椽久保南部)が受賞しました。堤村長は地方自治の発展向上に寄与され、角田さんは大規模なレタス栽培で地域農業の振興に寄与されました。

受賞にあたり、角田さんは「妻の支えに感謝している。農業は工夫と失敗の繰り返しで面白い。これからも楽しみながら向き合いたい」と話していました。



受賞した角田さん(左)と堤村長

3月28日 オール群馬選抜チーム
吉野希咲さんが活躍、全国3位

ソフトボールの都道府県対抗全日本中学生大会が大阪府で行われ、吉野希咲さん(昭和中3年)が所属するオール群馬(群馬選抜)チームが見事3位入賞しました。

群馬女子ソフトボールクラブに所属する吉野さんは、全日本大会では打撃専門の指名選手(DP)として全試合に出場。二塁打や三塁打の長打を放つなど活躍し、栃木県選抜と岡山県選抜チームに勝利し入賞に貢献しました。吉野さんは「チームで切磋琢磨し、互いに協力して入賞に手が届きうれしい」と話していました。



長打を放つなど全国3位入賞に貢献した吉野さん

5月28日 船ヶ鼻山山頂記念碑除幕式
登山者の安全願う石碑を建立

船ヶ鼻山山頂に、村民の幸福と登山者の安全を願う記念碑が建立され、除幕式が行われました。

船ヶ鼻山は赤城山系に属し、山頂は赤城山主峰の北西部、昭和村の南端に位置しています。村側の麓から山頂までは「楢水」「牛石」の2つのコースがあり、登山者に親しまれています。除幕式に際し、登山道整備に尽力された船鼻岳友会会長の岡田重雄さん(追分)は「登りやすい山として整備された登山道に、立派な記念碑が建立されありがたい」とあいさつしました。



玉串奉奠する堤村長と建立された記念碑

4月25日 利根実業高等学校
堤村長がOBとして記念公演

利根実業高校(中村正典校長)で第103回開校記念式が行われ、堤村長が同校卒業生として記念講演の講師を務めました。式典は感染症対策のためリモート形式で開催。堤村長は「目標に向かって」をテーマに、自身の経験を交えながら各教室の生徒たちに語りました。

講演後、生徒会長の稲垣寛太さん(森下中)が謝辞を述べました。また、講演を聴いた小林律輝さん(3年)は「目標を紙に書くと達成率が上がる、という先生のお話を参考にし今後実践したい」と感想を述べました。



講演する堤村長と謝辞を述べる稲垣生徒会長(写真右)

ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。

5月17日 村商工会 女性部が春の寄せ植え

村商工会女性部(堤輝枝部長)の皆さん16人が、部の活動の一環として花の寄せ植えを行いました。堤部長は「春らしい鉢になりました。部員それぞれの職場に飾って場を和やかにできれば」と話していました。



寄せ植えをした女性部の皆さん

5月20日 イーグルポイントとオンライン交流 ホームステイ再開に向け協議

村と教育委員会、議会は、友好交流を結ぶ米国イーグルポイント市とオンラインで交流し、コロナ禍以前に毎年行っていた昭和中学校生徒とイーグルポイントの生徒双方の交流再開に向けた意見交換を行いました。



リモートにより活発に行われた意見交換

5月30日 村内各小中学校 災害を想定し引き渡し訓練

村内各小中学校で、大地震の発生を想定し児童生徒を迅速に保護者に引き渡す「合同引き渡し訓練」が同時に行われました。南小学校では、訓練メールを受け迎えに来た保護者に子どもたちが引き渡されました。



訓練のため足早に帰宅する児童と保護者(南小学校)

4月16日 清流の会 機械を活用してまき割り

清流の会(今梶憲雄会長)でまき割り作業を行いました。会では、堅いまきでも素早く簡単に割れる電動薪割り機を2台使用。安全に配慮しながら短時間で大量に割れたまきで、今後炭造りなどを行うそうです。



安全確認しながらまき割り

5月2日 昭和中学校 ごみ拾いで地域貢献

昭和中学校の全校生徒が、近隣地域の清掃活動を行いました。生徒たちはクラスごとに分かれ、学校近隣の道路や草むらのかげなどを丁寧に巡回。用意したごみ袋がいっぱいになっていました。



常木付近でごみを拾う3年生

5月3日 村総合福祉センター「昭和の湯」 見事な盆栽を展示

村盆栽愛好会(吉良保会長)は、会員の皆さんの作品である盆栽の展示会を村総合福祉センター「昭和の湯」で行いました。同センターの来場者は、展示された見事な盆栽に見入っていました。



美しい盆栽を鑑賞する来場者